

晩秋の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員の皆様には恙なくお過ごしのこと、大慶に存じます。今年もあと残すところ一ヶ月余りとなり、皆様には日頃より当支部運営に際して多大なるお力添えを賜り、深甚なる敬意と感謝を申し上げます次第です。

さていよいよ 10 月からは自衛隊も方針転換をしたようで、私にも各種行事へのご案内状が届き参加させて頂きましたので、以下にそのご報告をさせていただきます。

まず 10 月 2 日は 3 年ぶりに「第 67 回高等工科大学開校祭」が晴天の下、横須賀の武山駐屯地で盛大に挙行され、保護者の中には初めて見る我が子の勇姿に感動し、目を潤ませ乍ら一糸乱れぬ観閲行進に応援の拍手する方も多くおられたようです。

同 6 日は明治神宮外苑にある明治記念館にて「髭の隊長・佐藤正久参議院議員」後援会セミナーに出席後、翌 7 日はグランドヒル市ヶ谷で開催された「偕行会」総会に陪席して、吉田陸幕長のウクライナ情勢に関する貴重な防衛講話を拝聴させて頂きました。

また 15 日は私の長男が所属する西方航空隊・高遊原分屯地開設記念行事に初めて参加させて頂き、OH1 や AH アパッチ、そして UH60 及び CH47 等の展示飛行を格納庫内から見学後、チヌークに搭乗して約 20 分の阿蘇山上空飛行を体験したところです。

そして 23 日は延岡総合文化センターにて、自民党延岡支部と日本会議延岡支部共催の「令和 4 年・美しい日本を守る講演会」に参加して、明治天皇の玄孫竹田恒泰先生と高市早苗経済安全保障担当大臣の講話を聴講致しました。

竹田先生は TV 等でお見受けするキャラクターそのまま、安倍元総理の業績やそれに関する現在の世相を一刀両断した上で、ご専門の日本書紀や古事記から演繹した独自の解釈を軽妙洒脱な語り口で判りやすくご説明頂き、更に神話の理解が深まった次第です。

高市早苗経済安全保障担当大臣は「セキュリティー・クリアランス」についてその重要性等を諄々と説かれたのですが、延岡まで来てわざわざ話す事かいなと考えていたところ、翌日国会の予算委員会で同じ答弁を繰り返されていたので、昨夜はそのリハーサルだったかと、妙に納得致しました。(笑)

当宮崎支部からも 7 名の方が参加され、ご参加頂いた皆様の防衛意識の高さに感心し、もちろん自衛隊は国防の最後の砦では有りますが、それを支えるのは国民一人一人の決意と覚悟である事を、ウクライナの惨状を目の当たりにした我々は努々忘れてはなりません。

年末を控え忘年会シーズンの始まりですが未だコロナの終息は見えず、呉々も我が身はご自分で防衛する気概を忘れず、ご自愛専一にお過ごし下さい。

令和 4 年 11 月 1 日  
宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小 倉 和 彦